

KT師重賞本命と見解 2022シンザン記念

去年はモーリス産駒が 1、2 着。

ピクシーナイト、ルークズネストともにその後は 1400m 以下の重賞で連対。
スプリント指向のパワー型が走りやすいレース。

本命はウナギノボリ。

父ドレフォンは母系を引き出す種牡馬。

近親のサンアディユは芝 1200m 以下の重賞 2 勝。G1 でも 2 着。

兄のビックリシタナモーはタートルボウル産駒ながらダート 1400m 以下で 5 勝。

パワー & 短距離指向の母系で当レース向きの血統。

ピクシーナイトと同様に中京芝 1400m で新馬戦を勝っているのも強調材料。

ソリタリオは昨年 1、2 着馬と同じモーリス産駒。

今回と同コースの前走のレース質が今回と近いであろうから
ウナギノボリも評価するわけですが。

ラスールはキタサンブラックには珍しく母の影響が出たタイプ。

ハイローのスピードが強化された血統で当レース向き。